

# \*7月号\*

## あいのそのだよ

発行日：2022年7月1日（金） No.890

発行者：社会福祉法人 シオンの丘 愛の園保育園

主 題 たのしむ  
 聖 句 成長させてくださったのは神です  
 第一コリント 3章6節  
 讚美歌 うみでおよぐ  
 神さまがわかるでしょ

「神より預かった子どもたち」

聖書のことば 「神の教えを心に抱き よろめくことなく歩む。」

—旧約聖書・詩編37：31—

私たちには子どもが与えられています。しかしこの子どもは、私たちの子どもである以上に神より預かった子どもなのです。つまり私たちに与えられている子どもは、私たちに託された神の財産なのです。もっとストレートに言うならば、子どもは自分の思い、願い、希望、期待だけで育ててはならないのです。

子どもは神より預かった神の財産なのですから、何よりもまず子どもを神の御心に沿うように教え、育てていくことが私たち大人（親）の義務であり、責任なのです。特に今は、様々なものの価値観が大きく歪められていますから、本当に大切なもの、また大切にしなければならないものが見失われています。ですから今の子どもたちが成人を迎えたとき、いったいどんな価値観と意識の中にあるのかを考えると、不安を憶えると共に危機感を感じます。

子育てとは「自分がどう生きればいいのか」ということを子どもに教え、伝えることです。作家の曾野綾子さんは「いじめ・虐待・汚職・怠慢等から、日本の将来を心配する人は多いが、それらの議論は不毛で、単なる対症療法の域を脱しない。それは、しわを隠すための上塗りみたいなもの。健康状態をよくし、肌の張りを戻すことが先決。これは、今までの魂の教育を怠ってきたつけなのだ。」と言っています。

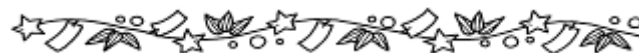
私たちは今、幼いうちに「魂の教育」を受けることの重要性をしっかりと認識していかなければなりません。もし子どもの教育を幼稚園に、保育園にお願いするのであるならば、それは子育ての放棄です。神から命を与えられ、生きることを「よし」とされている子どもたち。しかしその子どもたちは、自分がどう生きればいいのか分からずに苦しんでいます。今、私たちのなすべきことは神に生かされている者として神の愛をもって子どもたちと真向かうことではないでしょうか。

日本バプテストシオン山教会牧師 法人理事 伊藤光雄



あか1くみ 1名

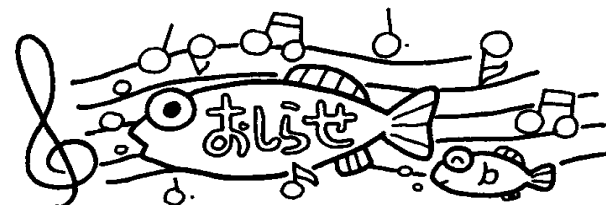
きいろぐみ 1名



### 行事予定

- 5日（火）こども礼拝
- 6日（水）健康診断（未受診・新入園児）
- 9日（土）日帰り保育（ぞうグループ）
- 11日（月）避難訓練
- 27日（水）誕生会（クラスごと）

※7月・8月はボール遊び教室はお休みです。  
 9月以降に振替で行います。



◎暑い日が続きますので、きいろぐみ・みどりぐみの子どもたちは、水筒を忘れずに持ってきてください。

◎汗をかくことが増えました。清潔に過ごすために、着替え用衣服の確認と補充をお願いします。

◎7月12日（火）より水あそびが始まります。  
 詳細につきましては、後日お知らせ致します。

◎8月20日（土）「あいのそのまつり」は、5歳児のみ保護者1名参加で、午前中に行います。  
 詳細につきましては後日お知らせ致します。

0～4歳児につきましては、8月20日（土）は家庭保育のご協力をお願い致します。  
 また、0～4歳児は18日（木）に園児のみで「おまつりごっこ」を行います。

### 7月生まれのお友達

7日	1名	6さい
16日	1名	5さい
17日	1名	3さい
18日	1名	5さい
	1名	4さい
19日	1名	5さい
23日	1名	6さい
25日	1名	6さい
26日	1名	2さい

### ぞうグループさんが フラネタリウムに 園外保育に出掛けました！

